

授業コード	D7222ZZ		
科目名	日本とアジアの世界遺産		
担当者	和泉 大樹		
単位数	2	レベル	
開講期間	2016年度 前期	開講曜日	金曜2限
開講キャンパス	南キャンパス		
授業の到達目標およびテーマ	日本と中国・韓国に存在する文化遺産を広く紹介し、遺産の歴史的・文化的背景を探るための教養を習得させることを主要な目標とする。取り扱う文化遺産は仏教寺院・都城・陵墓などの多岐に分け、あらゆる地域、あらゆるジャンルの情報に対応し、分析できる素養を習得させることをめざす。 本講義で紹介する文化遺産はいずれも観光資源として活用されているが、同時に破壊や風化の危機に瀕している。文化遺産の保護に向けての取り組みを紹介し、その方面の問題に目を向けさせることを副次的目標とする。		
授業の概要	「世界遺産」とはユネスコの「世界遺産条約(1972年)」に基づき、国際的協力により保護・保全を義務化した、民族や国家を超えた人類共通の宝である。条約加入国(92年日本加入)は自国内の遺産を守るための努力のみならず、さらに進んで他国の危機に瀕した遺産の保護にも協力せねばならない。また世界遺産はすべて第一級の観光地であるため、その保存・修復と同時に、秩序ある観光化のための公開方法も研究されねばならない。講義は各担当者が日本とアジアの具体的な世界遺産を解説するなかで、こうした問題への理解を深めることを目的とする。		
授業計画	第1回 ガイダンス(講義の概要・進め方・評価方法など) 第2回 日本の世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道 第3回 日本の世界遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観 第4回 日本の世界遺産 琉球王国のグスク及び関連遺産群 第5回 日本の世界遺産 富岡製糸場と絹産業遺産群 第6回 韓国の世界遺産 慶州歴史遺跡、仏国寺、石窟庵 第7回 韓国の世界遺産 昌徳宮、宗廟、華城 第8回 韓国の世界遺産 海印寺など 第9回 中国の世界遺産 西安の文化財(秦始皇帝陵など) 第10回 中国の世界遺産 洛陽の文化財(龍門石窟など) 第11回 中国の世界遺産 北京の文化財(故宮、天壇など) 第12回 中国の世界遺産 雲南省・四川省の文化遺産と自然遺産 第13回 インドネシアの世界遺産 ボロブドゥルとブランバナン 第14回 インドの世界遺産 第15回 世界文化遺産検定		
授業外学習(予習・復習)	第1回 復習:ガイダンス内容の整理 第2～15回 予習:配布資料に目を通しておくこと。 復習:講義中に取ったノートや配布資料を整理しておくこと。		
授業の方法と学習上の留意点	授業は4人の教員が担当するため、講義の方法に若干の相違点はあるが、全体的に視聴覚教材を多用する。学習に先だってアジア諸国の文化遺産に関する図録を閲覧し、講義の対象となる遺産のイメージを頭に入れておくこと。なお、講義の順番は変更する可能性がある。最初のガイダンスでその旨は説明する。		
成績評価基準	最終回に実施する確認試験(80%)と取り組み姿勢(20%)により評価する。		
教科書	授業時に配布する資料を教科書とする。		
参考文献	特になし。		
関連して受講することが望ましい科目	特になし。		
シラバス分野	15_学科科目		